

デッキ 施工要領

1.施工前

- 膨張収縮に対応するため、幅方向の目地幅は5mmを基準としてください。また、デッキの基礎床面には必ず勾配を設け、雨水などが滞留しないようにしてください。
- 木目や木肌、色合いなどのバラつきや、施工後の経年変化による伸縮、ひび割れ、色あせ等がありますことをご了承ください。
- 雨水に濡れることで、樹液がしみ出て壁や下地を汚してしまうことがあります、その場合は中性洗剤で洗い流してください。
- 紫外線による色あせ、ひび割れや樹液の染みだしを防ぐために、外部木材用保護塗料を塗布することをおすすめします。デッキ材の両面、小口にデッキ用オイル等を塗布してください。

2.施工

- 大引きピッチは900mm、根太ピッチは300mm～450mmで施工してください。ピッチが広すぎるとたわみ、反り等の原因になります。また、大引き・根太材はデッキ材と同種の材を使用してください。
- 膨張による突き上げを防ぐために、デッキ材の間隔は5mm程度設け、壁との取り合いは20mm～30mm以上設けてください。また、幅広のデッキ材については伸縮しますのでご注意ください。
- デッキ材を止める際は、初めに下穴をあけ、厚み20mmのデッキ材で50mm～55mm程度のステンレス製のビス等で止めてください。（厚みの厚いデッキ材はさらに長いビスを使用してください。）